

# 藤水小学校だより

— ひと・もの・ときを大切に —

第11号

令和2年10月13日  
津市立藤水小学校  
Tel 059-228-3674

## 修学旅行の思い出 ～鳥羽 志摩 名張 伊賀～

本当に行けるのか当日までハラハラしていた今年の修学旅行ですが、10月2日（金）から10月3日（土）の2日間、全員参加で元気に過ごし、無事に帰ってくることができました。

子どもたちは、仲間と一緒に寝食を共にし、見学先での初めての体験や普段とは違った友だちの様子や楽しい思いを一緒に共有し、これまで以上に仲間としての絆が深まったことと思います。ぜひこの経験を、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。

また、6年生の保護者の皆様には、修学旅行に関して随分ご心配をおかけしたと思いますが、ご支援とご協力いただきましたこと心より感謝いたします。

私が一番心に残っているのは、スペイン村です。スペイン村は、すごくアトラクションが多くてびっくりしました。私はジェットコースター系が苦手であり乗らなかったけど、友達が楽しそうに乗っているのを見て、私も笑顔になりました。おみやげもお父さんに買ってきてと言われた「ポルポロン」が買えてうれしかったです。〈A組女子〉

ぼくはモクモクが思い出に残りました。一つ目は、パン作りです。とても楽しかったし90分があっというまに過ぎてそしてパンの作り方を学びました。二つ目はソーセイジを買うときに前の人が順番をゆずってくれたことです。その時集合時間まで1分もないくらいで前の人が順番をゆずってくれたので、心の広い人だと思いました〈A組男子〉。



修学旅行での一番の思い出は2つある。一つ目は、しまスペイン村。ここでは、自分といっしょにまわりたい人と自由行動ができてとても楽しかった。その中でもジェットコースター。とても勢いがありおもしろかった。二つ目はりよかんでみんなとねたことだ。みんなとねるきかいは少ないのでとても楽しかった。1泊2日は最高だった。

〈B組男子〉

私はコロナウイルスで修学旅行の行き先が変わって鳥羽水族館、しまスペイン村、忍者村、伊賀モクモクに行くことになって、ちょっとざんねんでしたが、いざ行くとしたらウキウキな気持ちできれい、楽しい、面白い事がいっぱいありました。最初はざんねんだったけど行先を変更しても、すごく楽しい場所でした。すごく楽しい思い出でした。〈B組女子〉





## くるりんペーパーが来ました！

1学期にみんなで集めた「くるりんペーパー」が、「トイレットペーパー」になりました。

今回集まったくるりんペーパーは、407.4kgで、その結果トイレットペーパーを368個もいただくことができました。みんなの頑張りで、昨年よりも224個も増えました。

これからもご協力をよろしくお願いいたします。

## 【10月の給食費について】

1～6年生ともに、1,625円です。

※ 4月22日付の「年間集金計画」でお知らせした通り、校外学習分の給食費は、3月に調整します。

※ 転入児童やアレルギー対応等で個別に集金額が違う方には連絡をします。

※ 11月からは、原則4,300円の集金となりますので、ご承知おきください。



4年生の社会見学の様子が新聞で紹介されました。

9月30日 伊勢新聞

### 下水処理の仕組み学ぶ 9/30(水) 伊勢 津・藤水小の児童ら 雲出川左岸浄化センターで



最終沈殿池を見学する児童ら。津市雲出鋼管町の雲出川左岸浄化センターで。

その後施設内を歩き、水と微生物を分ける最終沈殿池や沈めた泥を濃縮する汚泥処理棟、ろ過した水に植物やメダカが共生するヒオトープなどを見学した。

田中鞠華さん(9)は「微生物がごみを食べていると初めて知った、川出鈴さん(8)は「きれいにした水で植物が育てられているすごいと思った」とそれぞれ感想を話した。

同センターでは下水道の日(九月十日)に合わせて施設に理解を深めてもらうと毎年城内の小学校に見学を呼び掛けており今年も市内の四校が来訪する予定。同小は社会見学の 일환で訪れた。

【津】津市藤水の市立藤水小(田中寛校長)の四年生三十四人が二十九日、同市雲出鋼管町の雲出川左岸浄化センターを見学し、下水処理の仕組みを学んだ。

児童は座学で同センターに流れてくる家庭からの排水が一日約二万六千立方メートルを教わった。

あることや、汚れた水は生物反応槽で微生物が分解しきれいにするなどの仕組み